山野草を見ながら山歩き

極楽寺・稲村ガ崎アートフェスティバル

「これはツルニンジン、花の中の模様をお爺さんの斑点に見立てて、ジイゾブともいいます」

観察会が行われ、約20人が参加した。

極楽寺在住で山野草に詳しい小海寿子さんの案内で極楽寺から鎌倉山にかけての野山を歩いた。

咲きが遅れていたヒガンバナ＝写真＝、ツルボの群生を見たり、ナンテンハギ、ゲンノショウコなどの小花は説明を聞きながらメモや写真を撮る参加者たち。

10月4日午前10時半、江ノ電極楽寺駅集合で山野草

極楽寺・稲村ガ崎アートフェスティバルの催しの一つで、10月2日から11日までコンサートや講演会のほか、周辺の店や民家など34カ所で、絵画、陶芸、染織、アクセサリーなどの展示、料理、手芸、ヨガなどの体験講座が開かれた。今年14回目で年々広がりをみせている。

ルーペで観察したりした。アケビの実や植物の新芽のおいしい料理法の紹介もあった。

朝方の雨で道がぬかるんですべりやすかったせいもあって、参加者は汗をふきふき2時間の行程を歩き、最後は小海さんの作った十薬茶のもてなしを受け、一息ついた。

秋空に感謝の炎と煙

荏柄天神社で絵筆塚祭

使い古した絵筆などへの感謝を込めて供養する絵筆塚祭が10月10日午後、鎌倉市二階堂の荏柄天神社で行われた＝写真。

漫画家の小島功、小山賢太郎、二階堂正宏さんらや一般の人たちが見守る中、鶴岡八幡宮の吉田茂穂宮司が祝詞を奏上し、大きな火皿に積まれた古筆などに火がつけられた。

穂先を上にした絵筆の山から白い煙が中秋の空に高く上がり、参加者たちは手をあわせていた。

絵筆塚祭はカッパの漫画を描き続けた清水崑氏が、愛用の絵筆を供養した「かっぱ筆塚」を1971年に建立したのが始まりで、横山隆一氏が89年に「絵筆塚」を建立して以来、毎年10月の日曜に行われている。

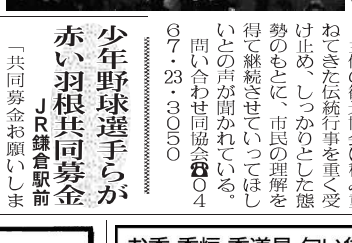
漫画家たちが描いた約百点の漫画絵が行灯に仕立てられ、9、10の両日境内や参道に飾られた。

鼓の音響き、幽玄の世界へ

52回鎌倉薪能、2日目は中止

高く響く鼓、笛の音、素謡の声が静寂の境内に響く。引き込まれるように舞台を見つめる観客たち。

鎌倉の中秋の名物行事52回薪能は10月8日夕方から鎌倉宮境内の特設舞台で行われ、約千四百人が鑑賞した＝写真。二日目の9日は雨で中止となった。



金春流素謡「翁」に続いて演じられた大蔵流狂言「空腕」の頃には夕闇が深まり、パチパチと爆ぜるかがり火のもとで舞台の明かりが映えた。観世流能「天鼓」も演じられた。

樹木に囲まれた境内に響く鼓の音色は身心を震わすように通り抜けていく。

1959年に始まった鎌倉薪能は、関東では走りで関心を呼び、それがきっかけで関東各地で薪能が行われるようになった。当初は無料で公演が行われていたが、46回の04年から有料になった。入場料6千円の影響か、空席が目立った。この入場料がどんな形で決められたのか説明はない。

主催の観光協会は積み重ねてきた伝統行事を重く受け止め、しっかりとした態勢のもとに、市民の理解を得て継続させていってほしいとの声が聞かれている。

問い合わせ同協会☎0467・23・3050

ひと

河野謙三章を受賞した手広中学校陸上部顧問

池田（いけだ）　克行（かつゆき）さん

9月行われた鎌倉市総合体育大会で、創立28周年という鎌倉で最も若い市立手広中学校（齊藤美代子校長）陸上部が完全優勝を成し遂げた。

県大会予選会を兼ねた中学校陸上競技大会は3年生最後の大会。昨年は新型インフルエンザで出場できず悔しい思いをした。その悔しさがパワーとなった。

女子総合優勝、男子総合優勝、男女総合優勝という同校始まって以来の快挙を成し遂げた。この陰には陸上一筋に情熱を傾けてきた教師がいる。

教室では英語の教鞭をとる池田克行教諭である。池田教諭は玉川大学を卒業後、鎌倉養護学校へ赴任。やがて母校の腰越中、深沢中と転勤、昨年4月同校へ移った。陸上部指導は通算16年に及ぶ。

昨年は河野太郎君（宮崎県出身）を全国大会に送り、今年度も県大会で高跳びや8百㍍で好成績を残した。腰越中、深沢中、手広中と毎年のように全国大会などに送り出してきた指導力が認められて10月3日、千葉県で開かれた第65回国体で中学生競技者の指導者として特に功労ある者に与えられる「河野謙三章」を日本陸上競技連盟から贈られた。

「陸上だけ強くなればよい、というのは駄目です。練習は2、3時間ですが、残りの21、22時間をどう過ごすかが大切です。例えば風呂や玄関の掃除をする、自分のことは自分でする、といった当たり前の日常生活を実践する。こうした努力が結果を引き出し、何かをやり遂げることが自信につながるのです」

積み重ねた教育指導で得たものや先輩の教え、カリスマ性のある監督のノウハウを知らぬ間に身に付けていた。

「厳しさだけでは保護者は離れていきます」

毎年欠かさない夏合宿で、チームの心はひとつになる。このチーム力で秋の大会で好成績を生み出してきた。

「地域の人たちは私たちの応援団です」

地域住民への挨拶も当たり前になっている。

陸上部に刺激されて野球部、サッカー部も燃えてきたとうれしそうだ。巣立った一期生たちも既に30代。

「会社は今大変。仕事もつらい。でも陸上部での練習を思い出すと壁を乗り越えられた」

懇親会に呼ばれると必ず異口同音に話すという。陸上部の指導者が人生のランナーを育てている。

腰越生まれ、46歳。中2、中1の息子、5歳の長女、妻の5人暮らし。（K）

町ぐるみで多彩な祭り

「葉山ふるさとひろば」賑う

小雨交じりの天候も晴れ上がり、「今こそ、あなたが主役！」をテーマにした第35回葉山ふるさとひろばが10月10日、葉山町役場周辺で開かれた＝写真。

葉山ふるさとひろば実行委員会（宮寺透雄会長代表代行）が主催し葉山町などが後援、地元企業や団体など60店舗が協力した。

会場は、開会式前から大勢の家族連れらが駆けつけ熱気むんむん。模擬店やストリートパフォーマンス、野菜・果物の即売など、どこも人垣ができるほど、コロッケ無料配布には子どもたちの列ができた。

福祉文化会館では、葉山中学・南郷中学校のブラスバンドが競演したほか、葉山小太鼓クラブ、30周年を迎えた葉山ごぜん太鼓が見事な撥さばきを披露し、盛んな拍手を浴びた。

また、葉山町防犯協会と葉山警察署は、11月7日から横浜で開かれるアジア太平洋経済協力会議（APEC）を控え、警備体制取り組みへの理解と交通規制協力を呼び掛ける一方、自転車盗難防止ロックキーを無料で配った。

宮寺さんは「長洲一二元県知事が提唱して始まった町民手づくりのふるさとひろばですが、補助金のカットで来年の開催は厳しい。関係者と知恵を出し合って続けたい」と抱負を語った。（K）

少年野球選手らが赤い羽根共同募金

JR鎌倉駅前

「共同募金お願いします」―野球帽にユニホーム姿で通行人に呼びかける子どもたち＝写真。

JR鎌倉駅頭で10月2日午前10時から鎌倉少年野球連盟（松中健治会長）のチームの代表や星月ファイターズの小学1年から6年生約20人が、元プロ野球選手で、市観光協会専務理事の遠藤一彦さんと赤い羽根の募金活動をした。

星月ファイターズは鎌倉市立第一小学校を中心に活動するチーム。野球少年たちは最初は戸惑い気味の表情で募金者に赤い羽根を渡していたが、慣れるにしたがって「ありがとう」と元気な声をかえしていた。

少年野球の安西照夫代表は「チームで初めての経験だったが、社会に役立つ活動を今後もしていきたい」と話していた。

共同募金は地域福祉の推進のため、民間の施設や団体などが行う福祉サービスの活動資金に活用される。

鎌倉市の今年の募金目標額は2771万円。昨年は約2845万円が寄せられた。募金期間は10月から年末まで。街頭募金、施設内に設置された募金箱、町内会・自治会の個別集金などで協力を呼びかけている。

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ
茅木家
☎（22）1460

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

内科・婦人科・整形外科・脳外科
眼科（手術）・リハビリテーション科
放射線科・人間ドック・検診
救急指定・訪問医療
《看護師募集中》
"誠実・親切"な診療に努める
清川病院
鎌倉市小町2-13-7（若宮大路段葛通り）
☎0467-24-1200
隣接地に介護老人保健施設
「かまくらしるばーほーむ」☎0467-22-0013

訪問診療・往診
医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

漢方診療
外科・内科
●診療時間　午前 9：00～12：00
午後 15：00～18：00
●休　診　日曜・木曜・祝日
水曜午後（定期往診）
鎌倉・常盤の
田中医院
院長 田中迪夫
鎌倉市常盤648 ☎0467（32）1315